西村くにこ 県政報告

NO. 55

発行日：令和8年（2026年）1月2日　通算第55号

ご意見、ご感想をお聞かせください。
電　話：045－210－7630　ＦＡＸ：045－210－8912
メール：925@nishimura-kuniko.com

発行者：西村くにこ
連絡先：横浜市中区日本大通り１番地



［プロフィール］2011 年神奈川県議会（川崎区）に初当選。現在、４期目。総務政策常任委員会副委員長／公明党神奈川県議会議員団団長／社会福祉法人川崎いのちの電話評議員／防災士／骨髄バンクドナー登録説明員／認知症サポーターキャラバンメイト／こころサポーター（メンタルヘルス普及促進）／心のバリアフリー推進員（障害者理解促進）／保護司

黒岩知事に対し 令和8年度予算・政策要望

～重点支援地方交付金を活用した 物価高対策を急げ～



長引く物価高に多くの県民から悲痛な声が寄せられています。一方で、自然災害の頻発や国際情勢の不安定化により、防災・減災、経済安全保障の重要性も一層高まっています。

２０２５年１１月２５日、西村くにこは公明党神奈川県議団団長として、黒岩祐治知事に対し、令和８年度予算・政策要望を手渡しました。

これは、市町村および県内団体等に行った夏のヒアリングを中心に、県議団独自の調査や県議団に寄せられた県民要望も加味し、防災・安全・医療など８つの重点テーマ、９０項目に及ぶ具体的な政策要望です。

また、西村くにこは、１１月２１日に政府が物価高対応などを柱に、大型減税などを含めて２１兆３０００億円規模の総合経済対策を閣議決定したことにも触れ、「来年度の政策要望の実現はもちろんのこと、重点支援地方交付金を活用した家計支援施策を、早急に実施すること」を求めました。

１２月１８日、神奈川県議会では本会議が招集され、総額５０５億円規模の補正予算が可決成立しました。

これには、これまでも実施してきたＬＰガス（プロパンガス）料金の高騰対策に２２億円を充てたほか、運輸事業者や特別高圧受電者、公衆浴場など幅広い分野の事業者に燃料代等の高騰に対する補助を行うとともに、医療・福祉の現場を支援する観点から、医療従事者、介護職、障がい者福祉の現場で働く方々への賃上げに充てる予算も計上されています。



平和の一年を幕開けるために

１２月の県議会では、「唯一の戦争被爆国として国是である非核三原則の尊重と堅持を求める意見書」が採択されました。核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」と言う非核三原則。「唯一の戦争被爆国としての歴史的責務と国際的信頼の基盤である平和国家の理念を重んじなければならない」とする公明党県議団の原案をもとに、会派間で文言を調整。全会一致を持って可決されました。

一方、意見書が採択された同じ日、高市政権官邸幹部が記者団に対し「個人の思い」とした上で核保有が必要との考えを示しました。政権に助言する立場にある人の発言は、国内外に疑念を広げてしまったと言わざるを得ません。

神奈川県議会において非核三原則の堅持を軸に、さまざまな意見を取りまとめ、合意形成がなされた意義は小さくないと思います。

川崎県税事務所がリニューアル！

１１月１６日、西村くにこはリニューアルした川崎県税事務所を視察し、次の３点を要望しました。①バリアフリーの丁寧な説明：車いす・ベビーカー利用者への分かりやすい経路案内。②授乳室に搾乳マークを：利用促進のためのマークと案内文の掲示。③太陽光発電の有効活用：県初の「フルＺＥＢ」設備を活用し、災害時の住民向けスマホなどの充電支援。



要望に対して、個人情報を保護しつつ、地域に頼られる施設を目指して検討が始まっています。

「搾乳マーク」は、赤ちゃんと一緒でないときでも授乳室で搾乳できることを示すマーク。県と当事者団体が共同作成し、１２月２４日に内閣府特命担当大臣表彰奨励賞を受賞。

